



兼松株式会社

2025年3月期 第2四半期（中間期） 決算補足説明資料

（見通しに関する注意事項）

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは、様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがありますので、本情報や資料の利用については、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行ってくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。なお、表示の数値は、億円未満を四捨五入しておりますので、個別数値と合計数値・増減額が一致しない場合があります。

2025年3月期第2四半期（中間期）決算概況

- 前年同期比で増収増益、第2四半期の過去最高益を更新
- 親会社所有者帰属中間利益の進捗を踏まえ、通期見通しを上方修正、年間配当は105円に増配

2025年3月期 第2四半期実績

(単位：億円)	24/3月期 2Q実績	25/3月期 2Q実績	前年 同期比	増減率
収益	4,741	5,186	+444	+9%
営業活動に係る利益	224	254	+30	+13%
親会社所有者帰属中間利益	123	151	+28	+23%
（調整後）営業キャッシュ・フロー ¹⁾	145	219	+75	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18	△65	△47	
	24/3月末	24/9月末	前期比	
ネットDER ²⁾	1.00倍	0.82倍	△0.18倍	
自己資本比率 ³⁾	22.0%	24.0%	+2.0%	

- 1) （調整後）営業キャッシュ・フロー = 会計上の営業キャッシュ・フロー ± 運転資本増減 - リース負債の返済
 2) ネットDER = ネット有利子負債 ÷ 自己資本（親会社の所有者に帰属する持分合計）
 3) 自己資本比率 = 自己資本 ÷ 総資産

2025年3月期 通期見通し

(単位：億円)	25/3月期 通期見通し (修正後)	2Q 進捗率
収益	11,000	47%
営業活動に係る利益	445	57%
親会社所有者帰属当期利益	270	56%
一株当たり年間配当金	105円	
連結配当性向	32.5%	

ICTソリューション事業、モバイル事業、航空宇宙事業を中心に順調に推移していることから、鉄鋼事業などが低調に推移しているものの、全体の進捗も踏まえ、営業活動に係る利益および親会社所有者帰属当期利益を上方修正

- 4) 見通しの前提条件：為替レート1米ドル=135円、円金利横ばい、外貨金利の下落を見込む

損益の状況

2025年3月期 第2四半期 実績

(単位：億円)	24/3月期 2Q実績	25/3月期 2Q実績	前年 同期比	増減率
収益	4,741	5,186	+444	+9%
売上総利益	684	763	+80	+12%
販売費及び一般管理費	△509	△561	△52	-
その他の収益・費用	50	52	+2	+5%
営業活動に係る利益	224	254	+30	+13%
利息収支	△26	△25	+1	-
受取配当金	9	8	△1	△7%
その他の金融収益・費用	1	△3	△3	-
金融収益・費用	△16	△19	△3	-
持分法による投資損益	△4	△3	+2	-
税引前中間利益	204	233	+29	+14%
法人所得税費用	△69	△78	△9	-
中間利益	135	154	+20	+15%
親会社所有者帰属 中間利益	123	151	+28	+23%

■ 収益

電子・デバイスセグメントや車両・航空セグメントを中心に、前年同期比で444億円の増収

■ 営業活動に係る利益

売上総利益の増加に伴い、30億円の増益

■ 税引前中間利益

営業活動に係る利益の増加に伴い、29億円の増益

■ 親会社所有者帰属中間利益

第2四半期過去最高益となる151億円
4ページ「セグメント別中間利益」参照

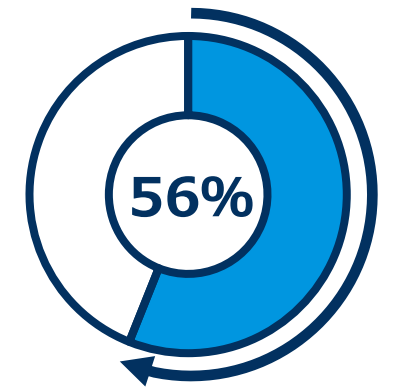
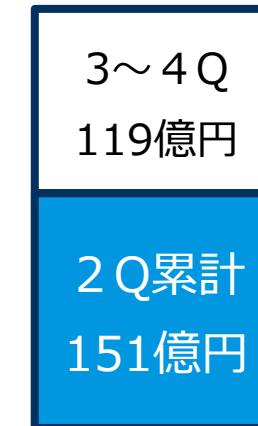
2025年3月期 見通し

(単位：億円)	25/3月期 通期見通し (修正後)	2Q進捗率
収益	11,000	47%
営業活動に係る利益	445	57%
税引前当期利益	400	58%
親会社所有者帰属当期利益	270	56%
連結配当性向	32.5%	

親会社所有者帰属当期利益の見通し（修正後）

通期見通し270億円

2Q進捗率

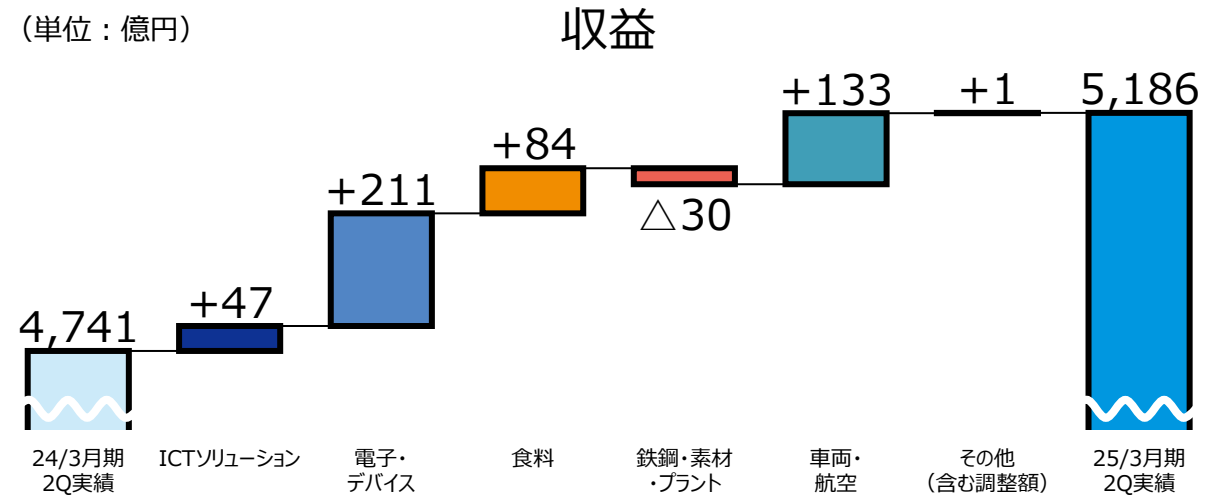


1) 見通しの前提条件：為替レート1米ドル=135円、円金利横ばい、外貨金利の下落を見込む

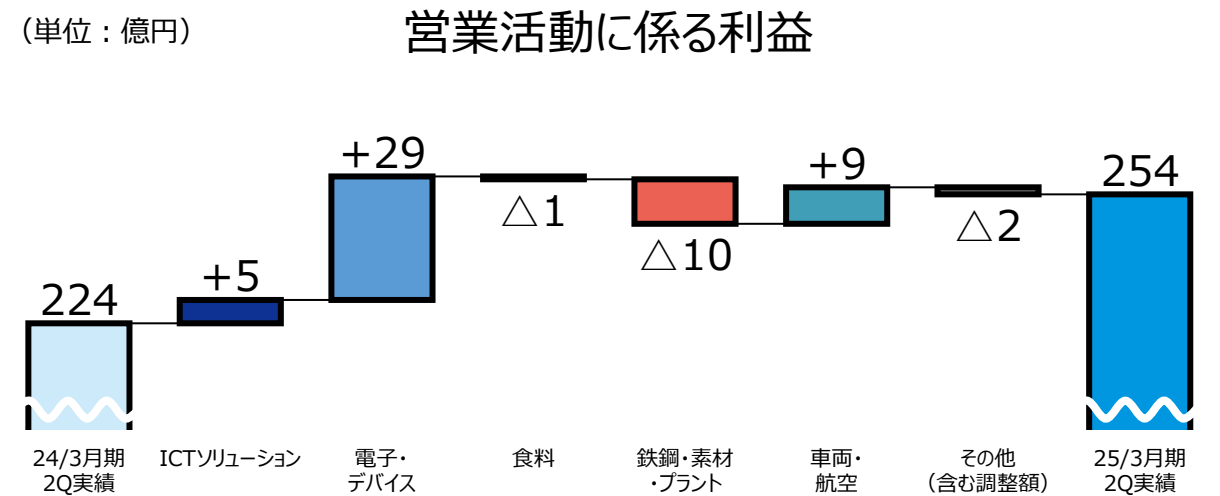
セグメント情報

(単位：億円)	24/3月期 2Q実績	25/3月期 2Q実績	前年 同期比	増減率	25/3月期 通期見直し (修正後)	進捗率
ICTソリューション						
収益	409	455	+47	+11%	900	51%
営業活動に係る利益	65	70	+5	+8%	145	48%
親会社所有者帰属中間利益	43	47	+4	+10%	100	47%
電子・デバイス						
収益	1,051	1,261	+211	+20%	2,800	45%
営業活動に係る利益	32	61	+29	+89%	113	54%
親会社所有者帰属中間利益	18	40	+22	+122%	73	55%
食料						
収益	1,706	1,791	+84	+5%	4,100	44%
営業活動に係る利益	53	53	△1	△1%	77	68%
親会社所有者帰属中間利益	25	24	△1	△5%	33	73%
鉄鋼・素材・プラント						
収益	1,055	1,024	△30	△3%	1,950	53%
営業活動に係る利益	49	39	△10	△21%	56	69%
親会社所有者帰属中間利益	20	21	+1	+6%	31	69%
車両・航空						
収益	511	643	+133	+26%	1,200	54%
営業活動に係る利益	23	32	+9	+37%	54	59%
親会社所有者帰属中間利益	15	20	+5	+34%	33	60%
その他（含む調整額）						
収益	10	11	+1	+5%	50	22%
営業活動に係る利益	1	△0	△2	-	0	-
親会社所有者帰属中間利益	2	△2	△4	-	0	-
合計						
収益	4,741	5,186	+444	+9%	11,000	47%
営業活動に係る利益	224	254	+30	+13%	445	57%
親会社所有者帰属中間利益	123	151	+28	+23%	270	56%

(単位：億円)



(単位：億円)

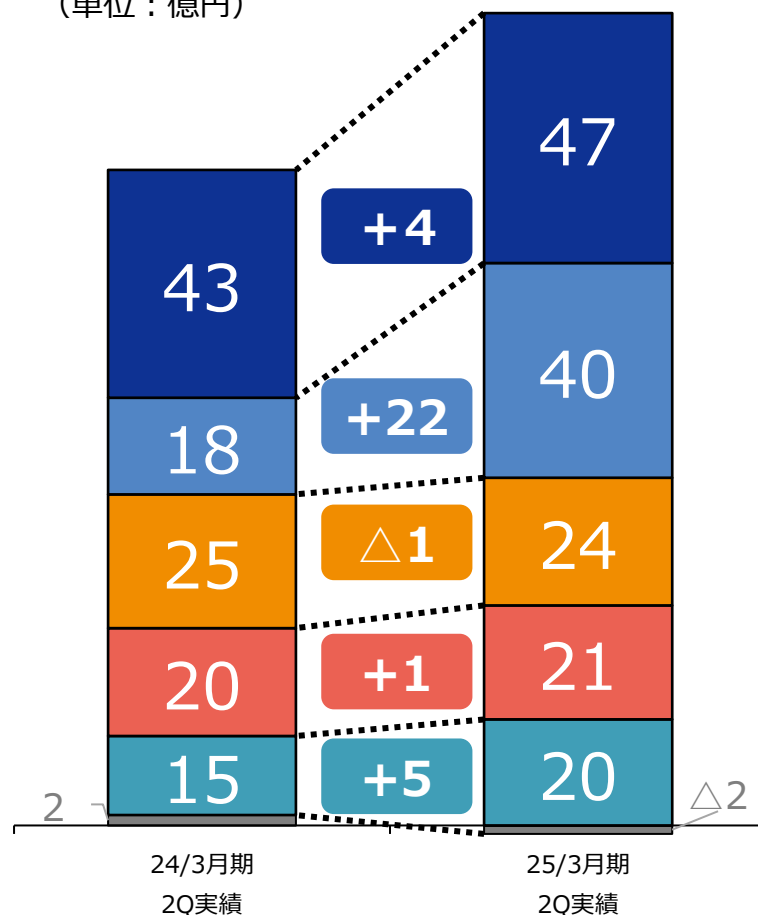


セグメント別中間利益

親会社所有者帰属中間利益

■ ICTソリューション ■ 電子・デバイス ■ 食料
■ 鉄鋼・素材・プラント ■ 車両・航空 ■ その他（含む調整額）

（単位：億円）



前年同期比の主な増減要因

ICTソリューション

4億円増益

- 人件費、オフィスリニューアル費用などの経費が増加した一方、セキュリティ関連の案件や、製造業を中心としたネットワークやストレージ関連の案件が順調に推移したことにより増益

電子・デバイス

22億円増益

- 半導体部品・製造装置事業：**
半導体部品は好調な前年同期比で減速、半導体装置は半導体市況の回復の遅れに伴い苦戦したものの、M&Aによる効果もあり、ほぼ横ばいで推移
- モバイル事業：** 直営店舗の増加や販路拡大の効果、販売台数増加に加え、法人向け事業の伸長もあり、店舗再編などにかかるコストが先行した前年同期比で増益

食料

1億円減益

- 食品事業：** 冷凍フルーツや飲料原料の販売などが堅調に推移
- 畜産事業：** 海外市況高や円安によるコスト高の影響により販売が苦戦し減益
- 食糧事業：** 輸入米や魚粉・魚油など全般的に堅調に推移し増益

鉄鋼・素材・プラント

1億円増益

- 鉄鋼事業：** 市況低迷により鋼管の販売が低調に推移し、前年同期比で減益
- プラント事業：** ODA案件の取引が好調に推移し増益

車両・航空

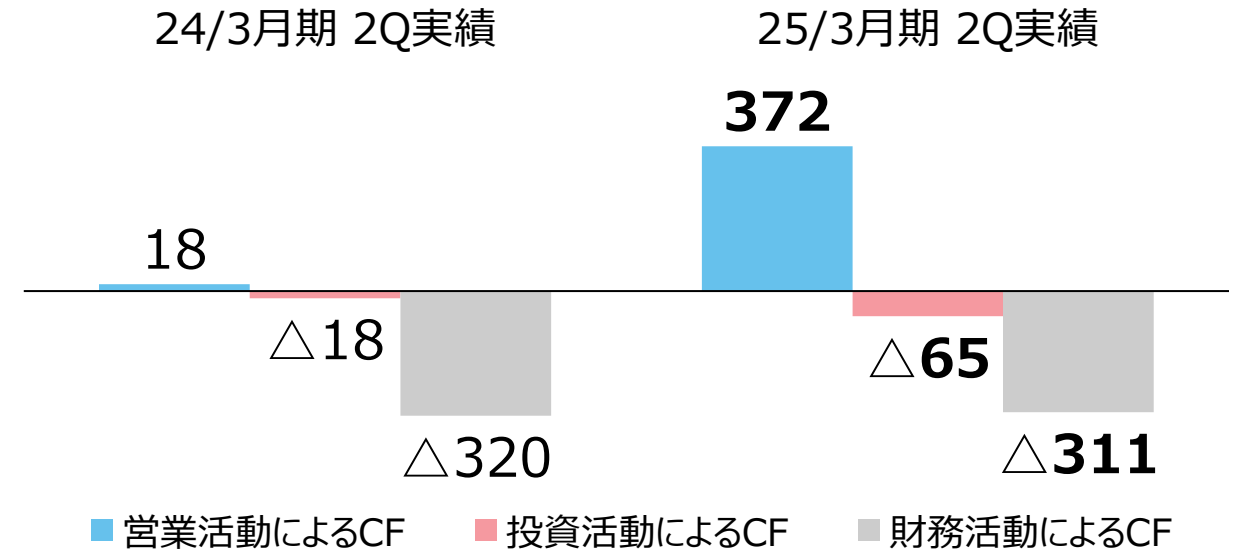
5億円増益

- 航空宇宙事業：** 航空機・防衛関連の取引が好調に推移し増益

キャッシュ・フロー

- 営業活動によるキャッシュ・フロー
営業収入の積上げや運転資本の減少などにより、**372億円のキャッシュ・イン**
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
有形固定資産の取得や子会社の取得等の事業投資の実行などにより、**65億円のキャッシュ・アウト**
- 財務活動によるキャッシュ・フロー
借入金およびリース負債の返済や配当金の支払いなどにより、**311億円のキャッシュ・アウト**

(単位：億円)	24/3月期 2Q実績	25/3月期 2Q実績	前年 同期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	18	372	+354
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18	△65	△47
フリーキャッシュ・フロー	△0	307	+307
財務活動によるキャッシュ・フロー	△320	△311	+9
(調整後) 営業キャッシュ・フロー ¹⁾	145	219	+75



1) (調整後) 営業キャッシュ・フロー = 会計上の営業キャッシュ・フロー ± 運転資本増減 - リース負債の返済

財政状態

■ 総資産

売掛債権の回収など営業債権の減少等により、**227億円の減少**

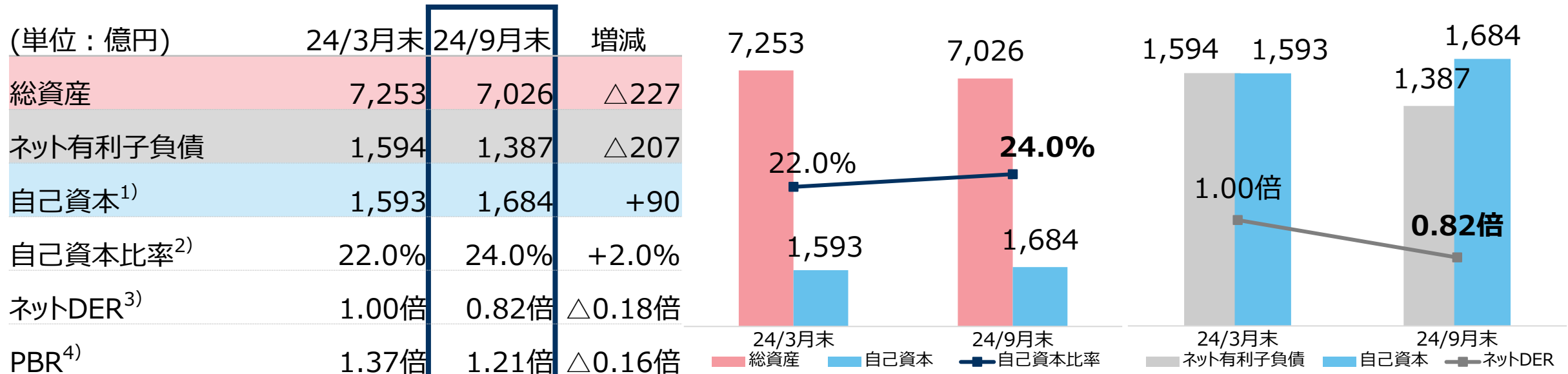
■ ネット有利子負債

運転資本の減少に伴う借入金の返済などにより、**207億円の減少**

■ 自己資本

親会社の所有者に帰属する中間利益の積上げなどにより、**90億円の増加**

自己資本比率は**24.0%**、ネットDERは**0.82倍**



1) 自己資本は資本の「親会社の所有者に帰属する持分」

3) ネットDER = ネット有利子負債 ÷ 自己資本

2) 自己資本比率 = 自己資本 ÷ 総資産

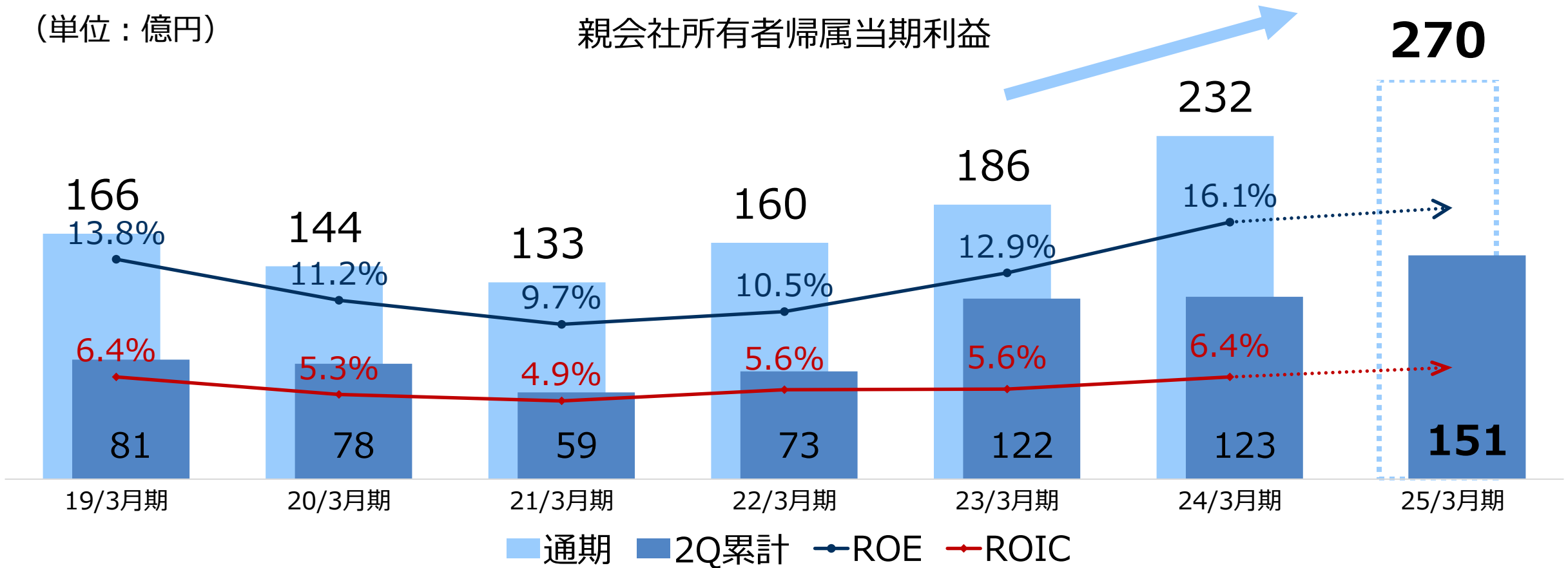
4) PBR = 期末時点の時価総額 (期末株価 × 発行済み株式数) ÷ 自己資本

親会社所有者帰属当期利益の推移

- 2025年3月期通期の当期利益は、前期比38億円増益の**270億円の見通し**
- 第2四半期の中間利益は151億円となり、第2四半期における**過去最高益**を達成

(単位：億円)

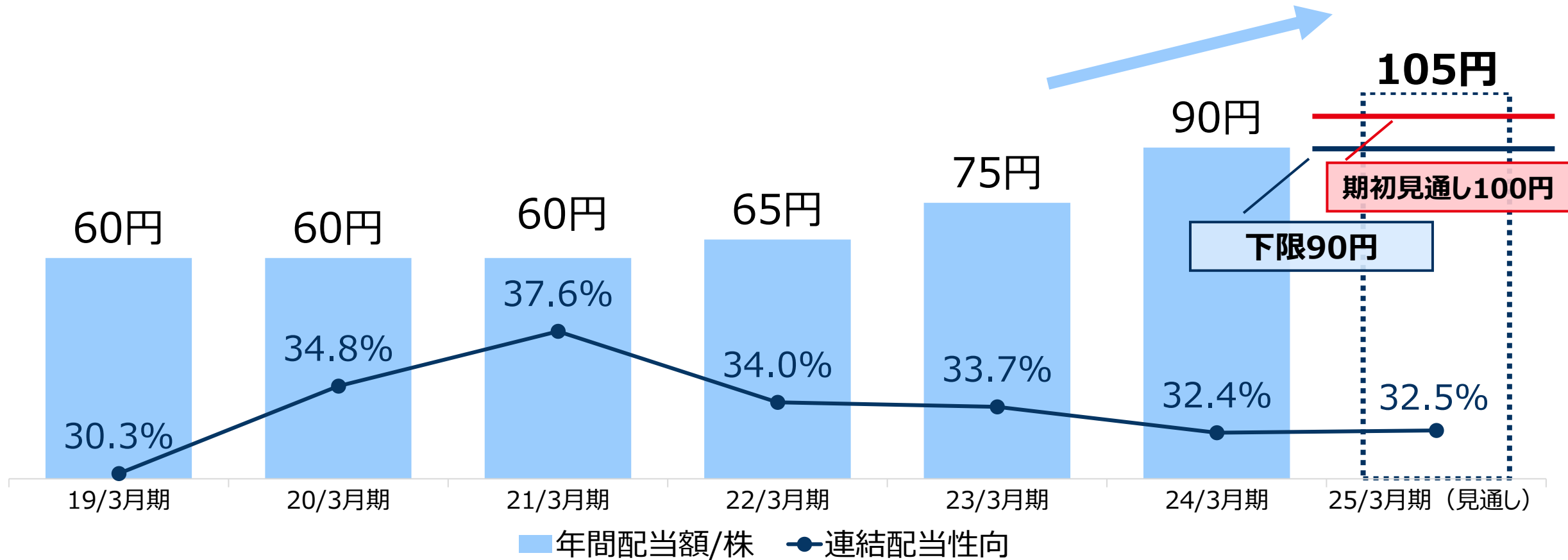
親会社所有者帰属当期利益



1) 見通しの前提条件：為替レート1米ドル=135円、円金利横ばい、外貨金利の下落を見込む

株主還元

- 中期経営計画「integration 1.0」期間の年間配当金を**下限90円**と定め**累進配当**を実施
- **総還元性向30~35%**を目標に、当期利益の成長に応じて配当金を増額する方針
- 2025年3月期の1株当たり年間配当金は、**期初見通しから5円増配の105円**を予定





兼松株式会社